



避難所の設置体験 ジュニア 冬のJr防災士講座

2024年がスタートした元旦、石川県能登地方で震度7の地震が発生しました。新年を迎えただけなのに、たくさんの方が被害に遭われました。日に日に被害の大きさが明らかになり、心を痛めている方も多いと思います。一日でも早く平穏な生活を取り戻したいものです。

報道から、避難所で多くの方が過ごしている様子が映し出されていました。そして、避難所での生活が長引くことによって、どのような物が不足していて、生活する上で何に困っているのかという情報が伝わるようになりました。このような状況を見聞きすると、改めて自分の住んでいる地域でどのような災害が起こり得るのかを知り、一人一人がしっかりと備えておく必要を感じます。急に避難が必要になったとき、何を持って避難所へ向かいますか。備えはできているでしょうか。

この問いに向き合う体験が冬休みに行われました。12月25日(月)、町地域防災課主催で行われたJr防災士講座です。町内小学4～6年生31名の子どもたちが参加しました。

子どもたちには、予め「1泊2日避難所で生活する想定で、必要だと思う物を防災リュックに入れて持ってくる」という課題が出ていました。子どもたちは各々考えて、LEDライト・タオル・ティッシュ・非常トイレ・スマホバッテリー・カードゲーム等、避難所での生活をイメージして準備していたようです。グループ毎に持ってきた物を紹介し合い、その後全体でも交流し合いました。

お昼頃からは、実際に避難所の設置体験を行いました。グループの中でペットボトルライトを作る担当、段ボールベット・間仕切りを設置する担当、備蓄食料で昼食を準備する担当に分かれ、それぞれ活動を行いました。避難所では、停電・断水になっていることが予想されます。ペットボトルライトで明かりを確保する方法を学びました。段ボールベット・間仕切り設営では、過去に組み立てたことがある子がいたようです。経験があると組み立てがとても早く、あっという間に個室が確保できました。また、熱湯に注意をしながら自分たちの手で昼食を準備しました。メニューはラーメンとカレーライスでした。グループ毎に楽しそうに食べている姿が印象的でした。



地域防災課の方々からのお話



防災リュックに入れてきた物を紹介



ペットボトルライト作成



段ボールベット・間仕切り設営



昼食準備

災害はいつ起こるか分かりません。起きないに越したことはありませんが、防災に関する経験や備えを知っておくことはその後の生活に安心を与えてくれます。今回の講座で学んだ子どもたちは、きっといざという時に Jr 防災士として活躍してくれることでしょう。町では、今後も防災教育に力を入れて Jr 防災士を育てることを目指していきます。



Jr 防災士認定証をもらいました

子どもたちのやる気を応援！

冬休み学習応援教室 開催



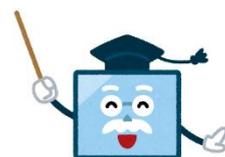
冬休みのはじめの2日間、船津小学校、小立小学校、河口小学校、勝山中学校で冬休み学習応援教室が開かれました。学習の復習をしっかりとしようと、たくさんの子どもたちが寒さに負けず参加しました。

学習応援教室は、町教育委員会が主催し、

町教育センターが事務局を務めているものです。指導は、各校に配置されている町費負担職員、支援員、ボランティアの退職教員によって行われました。基本的には自分で持ってきた課題に取り組むことになっていますので、自分のペースで自分が学びたい学習に集中することができます。分からないことがあると指導者に質問し、自分の課題を解決することができます。指導者の皆様は、一人一人に目を配りながら丁寧に指導・支援を行ってくださったので、子どもたちも熱心に課題に向かうことができました。



情報教育推進をめざして 情報教育研修会



町内小・中学校にタブレットが導入されて3年が経ちました。各学校で有効活用されており、子どもたちにとっても身近な機器となっています。授業だけではなく、家庭へ持ち帰り宿題等に活用している学校もあるようです。

タブレットを有効活用するためには、時間をかけて習得していくこと、また機器に慣れていくことが大切です。これは、教える側についても言えます。授業で使いながら学んだり、校内で研修したりする機会を通して、先生方も日に日にスキルアップしています。冬休みには、更なる情報教育推進のため、町内の先生方を対象にした研修会が実施されました。たくさんの先生方が参加され、スキルアップのため学びを深めていました。情報教育のますますの発展が今後も期待される研修会となりました。



研修会の様子